«東松山特別支援学校嵐山学園分校の活性化・特色化方針»

種別	病弱	学部・学科	小学部・中学部	R8.5.1 児童・生徒数	(男) 17 名 (女) 19 名	計 ３６名
アクセス	東武東上線　武蔵嵐山駅から徒歩約 15 分 （国道 254 号をはさんだ JGEPA（独立行政法人 男女共同参画機構）の向かい側）					

＜教育課程等＞

・一般の小学校、中学校に準ずる教育課程を基本にしています。そのうえで、児童生徒の必要に応じた学習内容や学習環境を整えています。
・小中学部とも 1 学級は 6 名までで、少人数での学習環境が整っています。
・校内での各種検定の実施など、学習意欲を高める取り組みを行っています。

・自立活動は、児童生徒全員対象で定期的な（週 1 回）個別の面談の機会を確保したり、学習空白の補填や基礎的学習の反復練習を行ったりしています。

＜学校行事・部活動＞

・遠足、社会科見学、社会体験学習、分校近隣の施設を活用した校外学習
・音楽発表会、体育発表会、写生会
・各種儀式的行事（始業式・終業式・修了式など）
・近隣諸学校との交流学習

・中学部部活動：運動部・文化部（週 3 日程度）

＜家庭・地域との連携＞

・児童相談所からの措置でこどもの心のケアハウス嵐山学園（以下「嵐山学園」）に入所した児童生徒のための学校です。
・分校は、生活支援や医療支援を担当している嵐山学園のスタッフと各種会議や個別の連絡を通じて連携し、児童生徒の学校教育を担当しています。
・また、分校周辺の学校や商業施設などの協力を得て、日常生活の経験をひろげる活動に取り組んでいます。
・児童生徒は生活場所である嵐山学園から同一敷地内の嵐山学園分校に通っています。通学距離は短いですが、気分を切り替え学習に臨んでいます。中学部は制服があります。

＜進路＞

・中学 3 年生までの間に嵐山学園を退所する場合は、退所後の住所の小中学校に転学します。

・小学部の卒業後、嵐山学園での生活が継続する場合は中学部に進みます。その際、本来の居住地の学校には学籍の関係で事務的なご協力をいただくことがあります。

・中学部 3 年生は、ほとんどの生徒が高校受検に挑戦します。卒業後は県立高校、特別支援学校高等部や高等特支などに進学します。稀に福祉就労を選択することもあります。

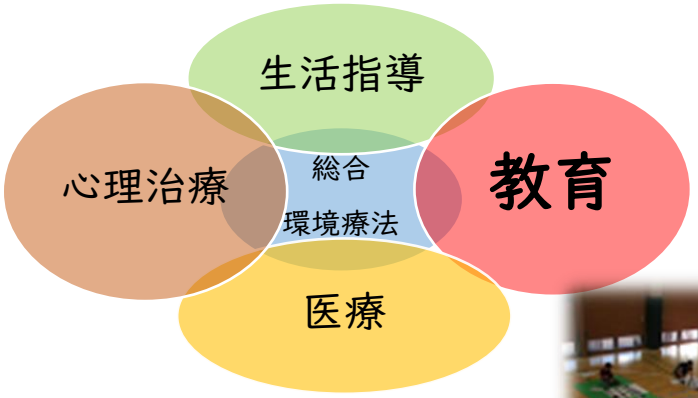
・中学部を卒業後は嵐山学園を退所することになるため、新しい生活、新しい学校への通学となります。進路先決定に関しては、新しい居住地の決定前であることがほとんどのため、全県の各地域から受検校を選択するよう指導しています。受検校を選ぶ際には本人の希望や通いやすさなど、諸々の条件について検討し、情報提供や助言を行っています。

県立東松山特別支援学校 嵐山学園分校 育成方針

学校教育目標：児童生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、社会の中で豊かに生きていく人間の育成を目指す

目指す学校像：児童生徒一人ひとりに応じた社会参加を目指す学校

児童心理治療施設「こどもの心のケアハウス嵐山学園」では総合環境療法の理念に基づき、入所児童生徒の治療・支援を行っています。嵐山学園分校はその一部である「教育」を担っています。
入所と共に転入となるため、学習や生活場面では学習空白や習熟度にも配慮し、学園と連携してきめ細やかな指導を行っていきます。



春の花、みつけた！▲

力いっぱい！力を合わせて！▲

◀心を鎮めて書初め競書会

職員さんもがんばります▶

▲共に歩く体験を大切にします

▲気持ちを伝えられるといいね

▼雨の日も友達となら楽しめる

▲検定の合格めざして

▲料理をふるまう喜び

目指す子ども像：

「自分のために 進んで学ぶ子」
「おたがいのために 気持ちを伝えられる子」
「みんなのために ルールやマナーを守る子」

転入から転出まで、施設内での生活を教育で支えます。相互の信頼や尊敬を学び権利を大切にできる子どもを育て、応援していきます。